

# 平成 26 年 11 月 23 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

持ち寄り音楽祭

司 会 : 小木秀夫兄  
さんび : 新聖歌 209 「慈しみ深き」 1. 2. 3 節  
主の祈り  
音 楽 : 持ち寄り音楽祭・第一部  
メッセージ : 「音ずれと訪れ」 倉知 契牧師  
賛美と献金 新聖歌 233 [驚くばかりの]  
頌栄 ハレルヤ・アーメン (新聖歌 233 のまま)  
祝 禱  
報 告

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 今日は音楽祭。皆様を大歓迎致します！おくつろぎください。
- ◇ 昼食は200円、午後の部は1時半スタートです。  
チャペルは午後のリハーサルのためロビーへご移動ください。
- ◇ 来週からアドベント(待降節)。クリスマス企画の始まりです。  
11/30 はソプラノ伊藤恭子さんをお迎えしての音楽ミサ。  
12/14はピアニスト川添由梨香さんによるXmasリサイタル。  
12/21はゴスペル・スパローズ登場！盛大にお祝いします。  
どれも無料です。お誘い合わせてご参加ください！
- ◇ 今日は参加者全員に素敵なプレゼントがあります。
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈禱会11時15分
- ◇ 祝大Aコース ヘブル11章～ヤコブ4章 Bコース エゼキエル13章～28章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年11月30日] [収獲感謝礼拝]  
[司会: 大神真伸兄、いのり: 加藤由美子姉、聖書朗読: 下岡晶子姉]  
[ピアノ&リード: 倉知 契牧師 アシスト: 小島 誠兄、小島明美姉]  
[献金: 太田昌子姉、加藤和代姉 受付: 加藤和代姉]  
◇PA: 平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄  
◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 大神久美姉



初めての はれの独唱 八十の夏 (伊藤沙余子)

今日は「持ち寄り音楽祭」。第五回なので、「誤解」なきよう？お伝えします。この音楽祭は地元密着型、しかも手作りの音楽祭で、ギャラも何もありませんが、とにかく音楽が好きな方々が集まって、和気藹々なひと時です。前回初出演された伊藤沙余子さんが、出演の感動を短歌にして応募したところ、なんと中日新聞に掲載されました。それが冒頭の一句。私はあの時の歌声を今でも覚えています。本当に輝いていて、文字通り「はれの独唱」でした。今日も夢の舞台。一生懸命演奏してください。どうぞ温かい拍手をお送りください。持ち寄り音楽祭の3つのルールを覚えておられますか？

ところで、プロバスケットボール(NBA)のヒューストン・ロケッツ、本拠地コンパックセンターは、今では1万人以上の入る教会です。その教会の牧師ジョエル・オステイン先生の著書「あなたはできる」(PHP研究所)に、ご自分のお母様が、癌を患って余命数週間と宣告されたときの話があります。病気知らずの元気な母親が突然、やせ細って肌も黄色くなり、深刻に弱ってゆきました。アメリカ中、治療法を探しましたが見つからず、医師には「一ヶ月もたない」と宣告されます。でも、お母様は諦めませんでした。現状を否定したわけではありませんが、「もうだめだ」と言わなかったのです。そして一日中「私はけして死なない。きっと奇跡が起こる」と言い続けました。家じゅうに、自分が若い時、元気であったときの写真を貼りまくり、鏡の前の弱っている自分ではなく、元気な自分の姿を見続けました。私たちの耳が一番近くで聞くのは自分の声ですが、いつも前向きで肯定的な告白をしました。その結果、驚くことに体調が回復し、癌が消えて、あれから20年以上がんは完治しているという実話。考えられないほどの奇跡が起こった背景に、「夢を見続ける」という単純な法則がありました。自分が「どうなりたいか」というビジョンをもって、いつもそれを口ずさみ、思い描き続けることが奇跡の入口になったのです。

私の夢は瀬戸市13万人の方が幸せになることです！大きな夢も一歩から。この「持ち寄り音楽祭」を通して、この街と近郊の皆様が幸せを体験されますようにと、祈り続けてきました。さあ、本番をごゆっくりお楽しみください！

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契

Where are you?

あなたはどこにいるのか？

創世記三章九節